JPX
東証一部上場
証券コード
6638

第43期（2018年3月期）決算説明会

業績の実績・見通し／中長期・成長ビジョン

株式会社 ミマキエンジニアリング

2018年6月4日

NEW

（2018年7月発売予定）

NEW

（2018年7月発売予定）

NEW

Mimaki 3D Printer

（2017年11月発売）

Mimaki

目 次

- ❖ 2018年3月期連結業績 実績
- ❖ 2019年3月期連結業績 見通し
- ❖ 成長戦略と重点施策

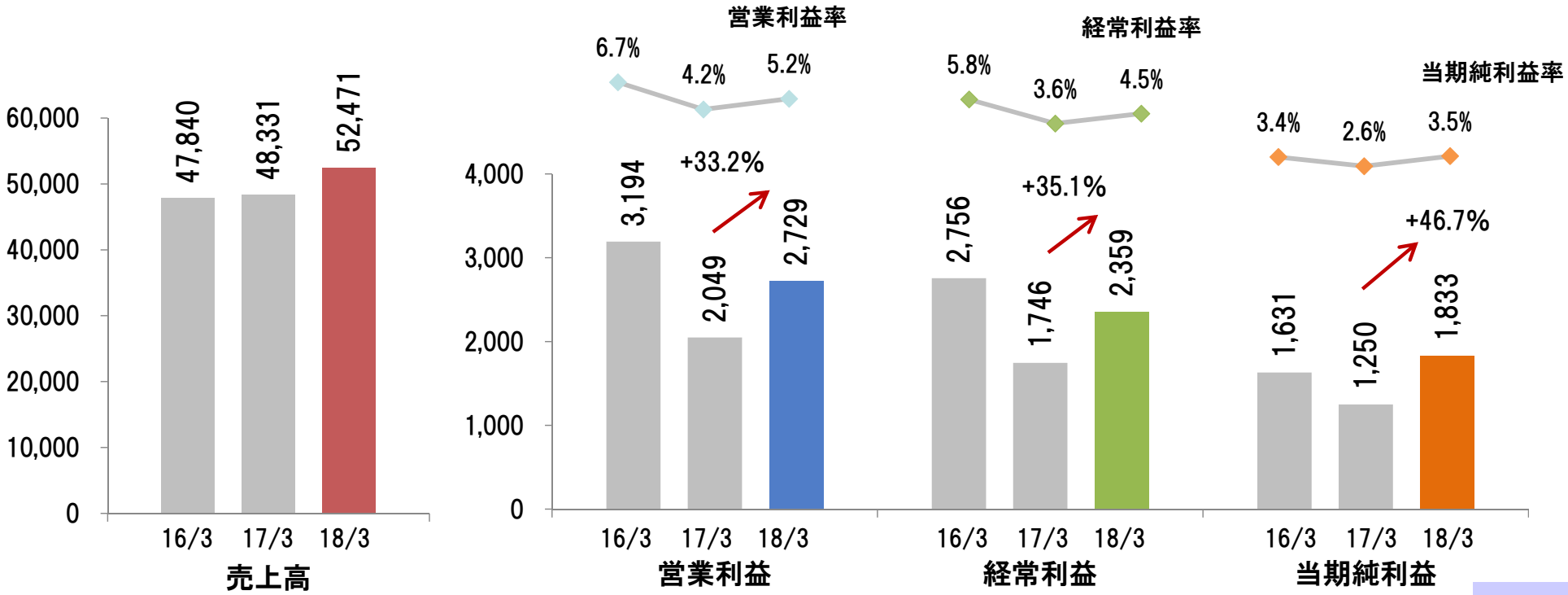
1. 中長期ビジョン：M1000 2.0
2. 成長戦略
   - -1. SG市場
   - -2. IP市場
   - -3. TA市場
   - -4. 3D市場
3. 本部別の重点施策

   営業本部、 技術本部、 生産本部、 経営企画本部、 管理本部

❖ 2018年3月期連結業績 実績

連結業績ハイライト （2018年3月期）

（単位：百万円）	2017年3月期（第42期） 実績	2017年3月期（第42期） 売上比	2018年3月期（第43期） 実績	2018年3月期（第43期） 売上比	2018年3月期（第43期） 前年同期増減率	2018年3月期（第43期） 為替影響除く前年増減率
売上高	48,331	-	52,471	-	8.6%	4.4%
営業利益	2,049	4.2%	2,729	5.2%	33.2%	△23.3%
経常利益	1,746	3.6%	2,359	4.5%	35.1%	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,250	2.6%	1,833	3.5%	46.7%	-
為替（期中平均） 米ドル	108.41円	-	110.86円	-	2.3%	-
為替（期中平均） ユーロ	118.83円	-	129.70円	-	9.1%	-



営業利益増減要因（2017/3期 vs 2018/3期）

（単位：百万円）

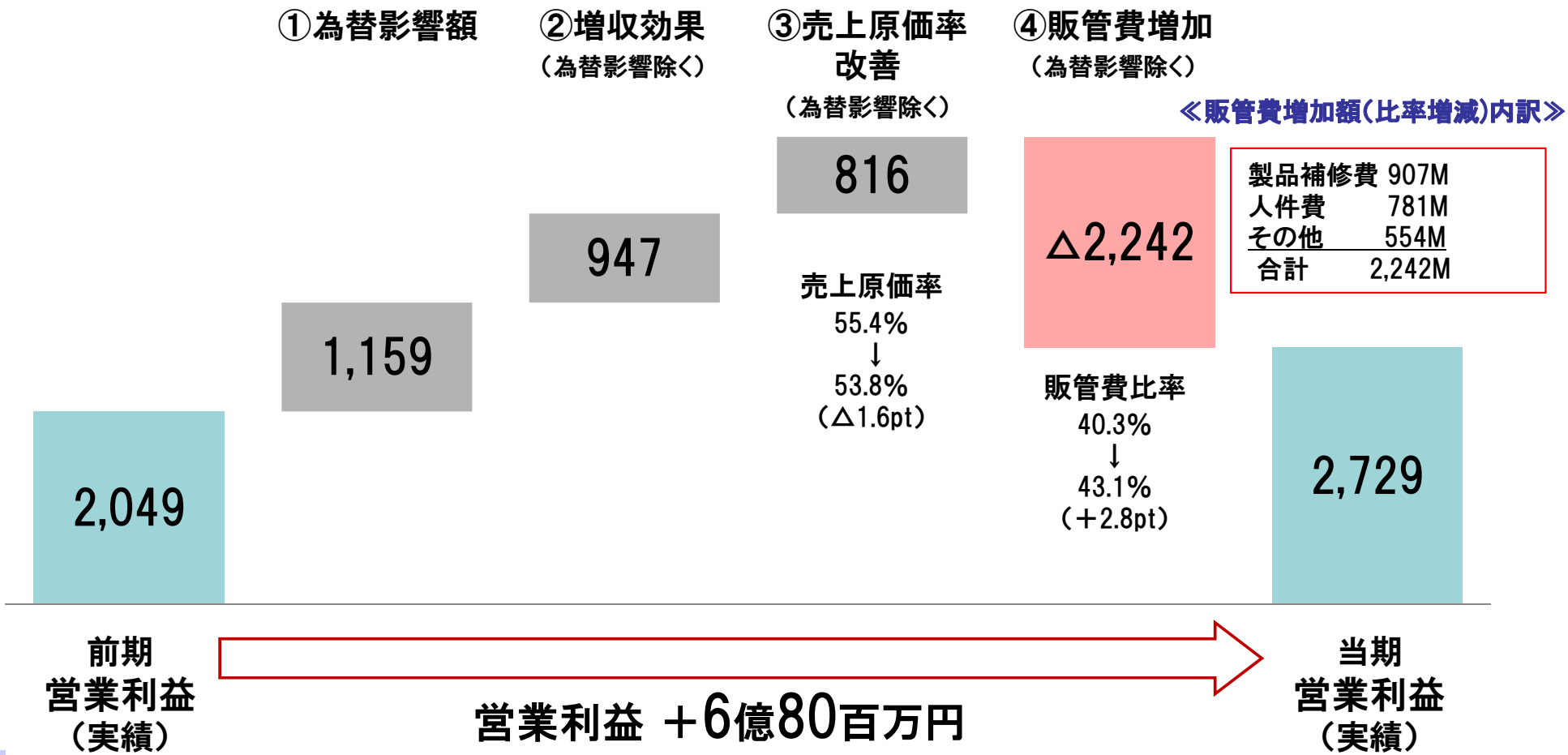
【通貨別影響額】

USD／108.41円	→	110.86円	＋139
EUR／118.83円	→	129.70円	＋1,034
その他（BRL,CNY等）			△14
		合計	＋1,159

＜為替感応度（1円/年）＞

	売上高	営業利益
USD	101	55
EUR	141	95

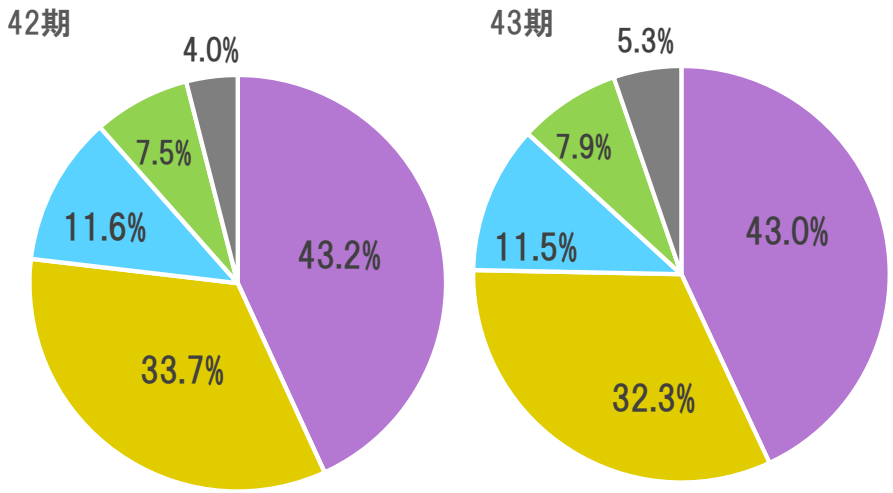
【売上・原価・営業利益への為替影響】
売上高 2,012－売上原価 397－販管費 456＝営業利益 1,159

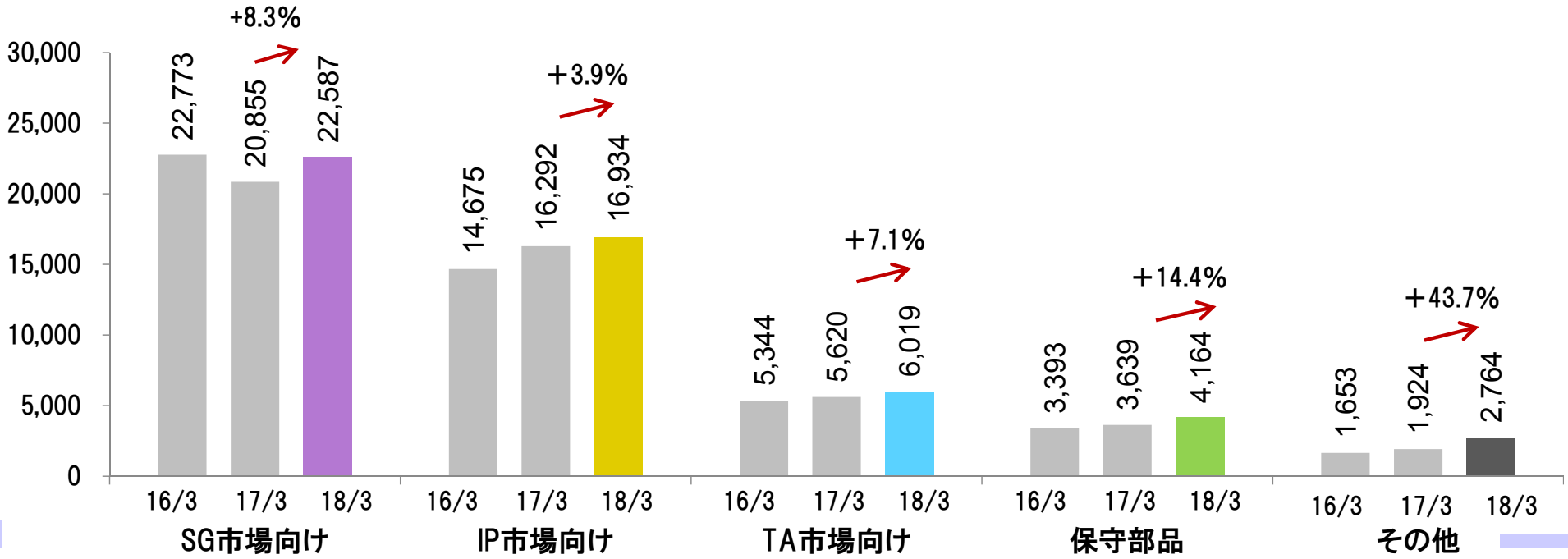


市場別売上高（2018年3月期）

（単位：百万円）	2017年3月期（第42期） 実績	2018年3月期（第43期） 実績	前年同期増減率	為替影響除く前年増減率
SG市場向け	20,855	22,587	8.3%	4.1%
IP市場向け	16,292	16,934	3.9%	△0.4%
TA市場向け	5,620	6,019	7.1%	3.2%
保守部品	3,639	4,164	14.4%	-
その他	1,924	2,764	43.7%	-
合計	48,331	52,471	8.6%	4.4%

構成比率

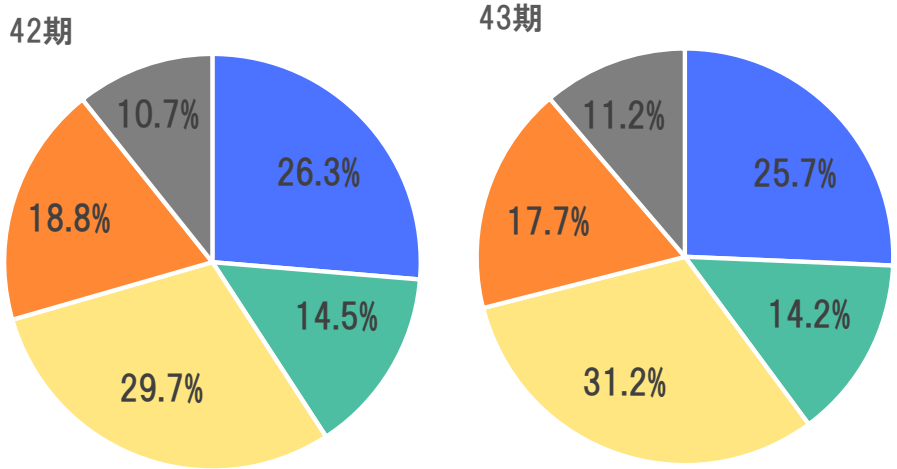


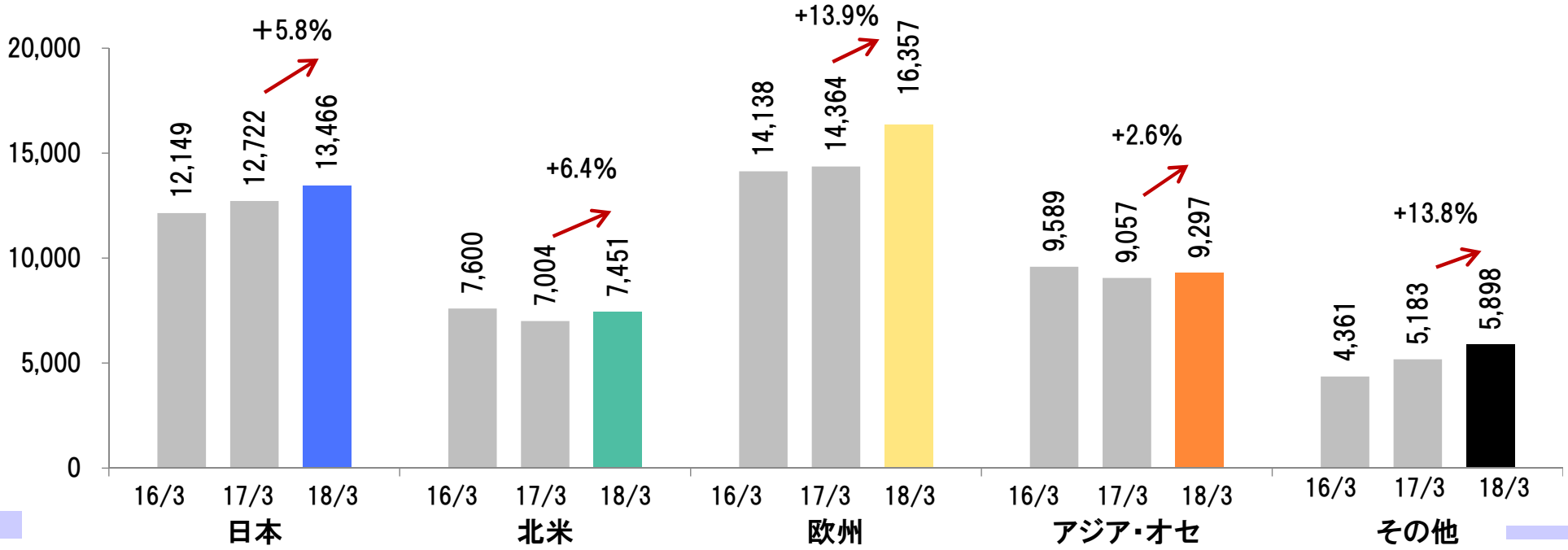


エリア別売上高（2018年3月期）

（単位：百万円）	2017年3月期（第42期） 実績	2018年3月期（第43期） 実績	前年同期増減率	為替影響除く前年増減率
日本	12,722	13,466	5.8%	-
北米	7,004	7,451	6.4%	4.0%
（現地通貨/$）	（64.6M）	（67.2M）	-	-
欧州	14,364	16,357	13.9%	4.3%
（現地通貨/€）	（120.8M）	（126.1M）	-	-
アジア・オセ	9,057	9,297	2.6%	△1.9%
その他	5,183	5,898	13.8%	-
合計	48,331	52,471	8.6%	4.4%

構成比率





要約貸借対照表 （2018年3月31日現在）

	（単位：百万円）	2017年3月31日	2018年3月31日	増減額	増減率
資産の部	現金及び預金	10,054	11,529	1,475	14.7%
	受取手形及び売掛金	8,493	9,232	739	8.7%
	たな卸資産	14,923	16,337	1,414	9.5%
	その他流動資産	2,718	3,461	742	27.3%
	流動資産合計	36,190	40,561	4,371	12.1%
	有形固定資産	9,342	9,248	△ 93	△1.0%
	無形固定資産	2,101	2,354	253	12.1%
	その他の資産	1,573	1,855	281	17.9%
	固定資産合計	13,017	13,458	441	3.4%
合計		49,207	54,019	4,812	9.8%
負債・純資産の部	支払手形及び買掛金（※1）	7,369	8,674	1,304	17.7%
	短期借入金（※2）	9,800	11,483	1,683	17.2%
	その他流動負債	5,742	7,155	1,412	24.6%
	流動負債合計	22,912	27,313	4,401	19.2%
	長期借入金	9,492	8,237	△ 1,255	△13.2%
	その他固定負債	753	690	△ 62	△8.3%
	固定負債合計	10,245	8,927	△ 1,317	△12.9%
	負債合計	33,158	36,241	3,083	9.3%
	純資産合計	16,049	17,778	1,728	10.8%
合計		49,207	54,019	4,812	9.8%

（※1）電子記録債務を含む
（※2）1年内返済予定長期借入金を含む

❖ 資産の部

① 現金及び預金（＋1,475M）
受取手形及び売掛金（＋739M）
たな卸資産（＋1,414M）
→業容拡大に伴う増加

② その他流動資産（742M）
→繰延税金資産

❖ 負債の部

① 支払手形及び買掛金（＋1,304M）
→業容拡大に伴う増加

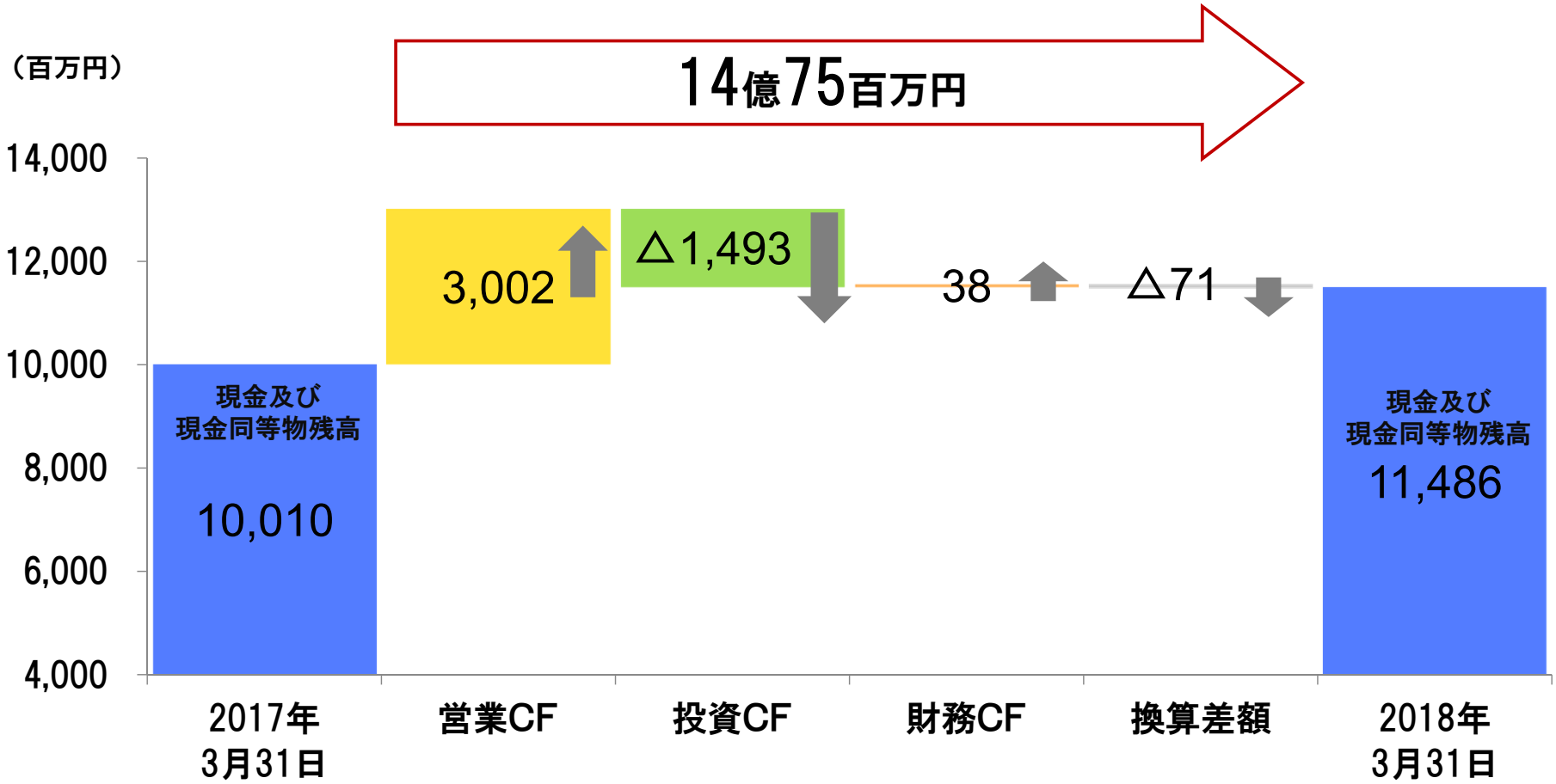
② 短期借入金（＋1,683M）
→長期借入金の減少見合い

③ その他流動負債（1,412M）
→製品保証引当金、未払法人税等

❖ 純資産の部

- 利益剰余金 （＋1,533M）

キャッシュ・フロー（2018年3月期）



営業キャッシュ・フローの状況

EBITDA（※）	4,766
運転資金増加	△ 1,255
税金、利払等	△ 508
合　計	3,002

（※）利払前、税払前、償却前の営業利益

投資キャッシュ・フローの状況

固定資産の取得（※）	△ 1,573
固定資産等の売却	105
その他（主にM&A）	△ 26
合　計	△ 1,493

（※）欧州インク工場、基幹システム、デモ機等

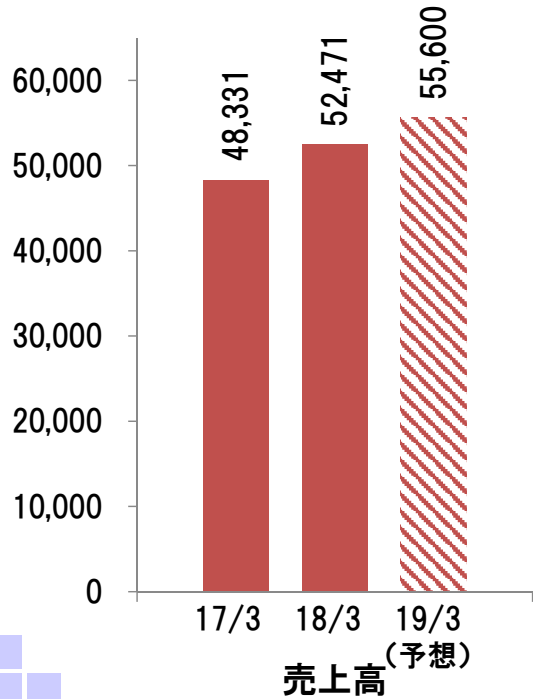
財務キャッシュ・フローの状況

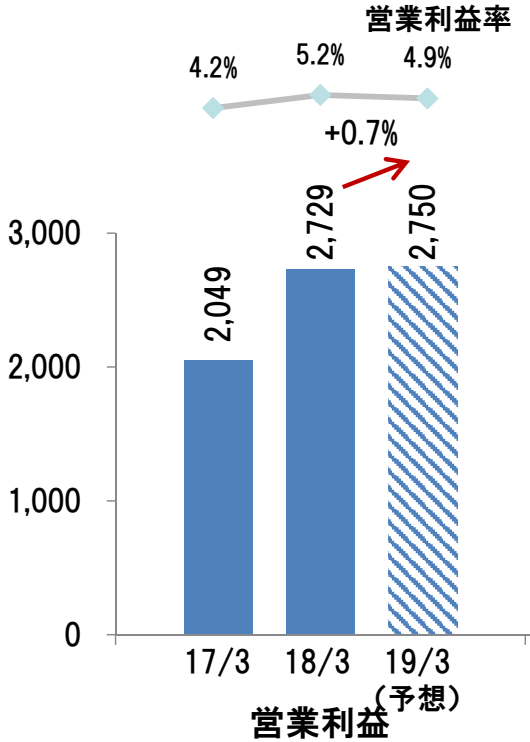
短・長期借入金収支	420
配当金	△ 299
その他	△ 82
合　計	38

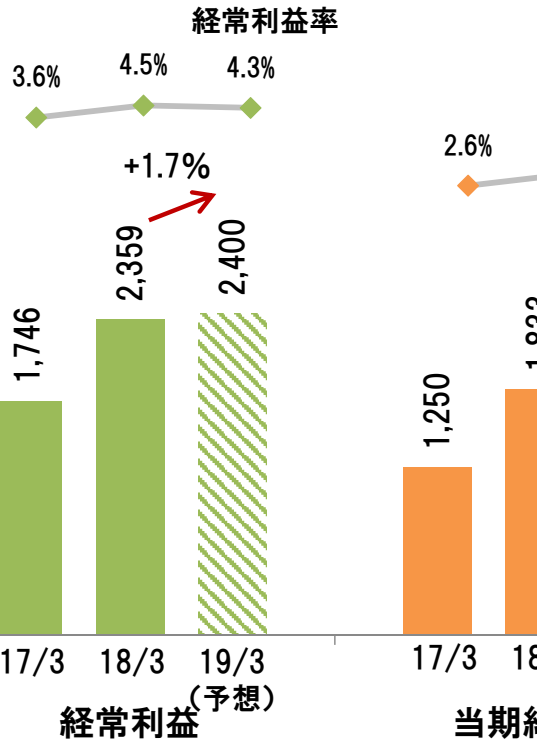
❖ 2019年3月期連結業績 見通し

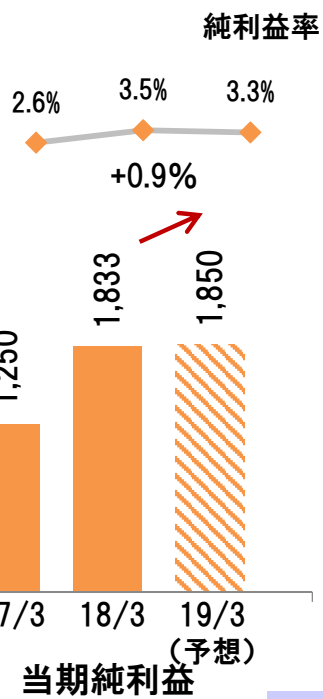
連結業績予想ハイライト （2019年3月期）

（単位：百万円）	2018年3月期（第43期）		2019年3月期（第44期）						
	通期	売上比率	上期	下期	通期	増減額	増減率	売上比率	為替影響除く前年増減率
売上高	52,471	-	26,500	29,100	55,600	3,128	6.0%	—	7.7%
営業利益	2,729	5.2%	950	1,800	2,750	20	0.7%	4.9%	21.2%
経常利益	2,359	4.5%	800	1,600	2,400	40	1.7%	4.3%	-
親会社株主に帰属する当期純利益	1,833	3.5%	650	1,200	1,850	16	0.9%	3.3%	-
為替（期中平均） 米ドル	110.86円	-	—	—	105.00円	△5.86円	△5.3%	—	-
為替（期中平均） ユーロ	129.70円	-	—	—	128.00円	△1.70円	△1.3%	—	-









営業利益増減要因（18/3期実績 vs 19/3期計画）

（単位：百万円）

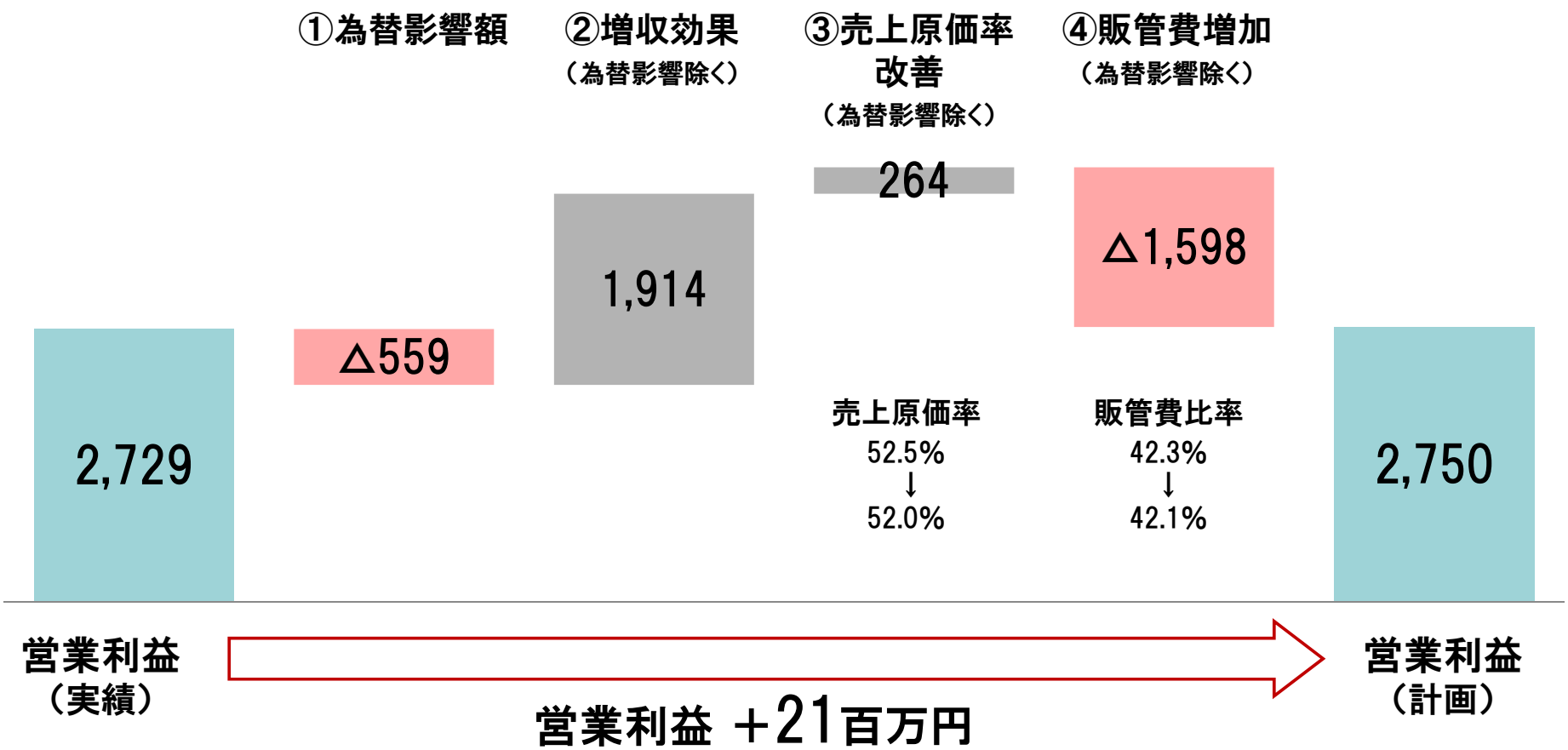
【通貨別影響額】

USD／110.86円	→	105円	△390
EUR／129.70円	→	128円	△181
その他（BRL,CNY等）			＋12
		合計	△559

＜為替感応度（1円/年）＞

	売上高	営業利益
USD	111	67
EUR	147	106

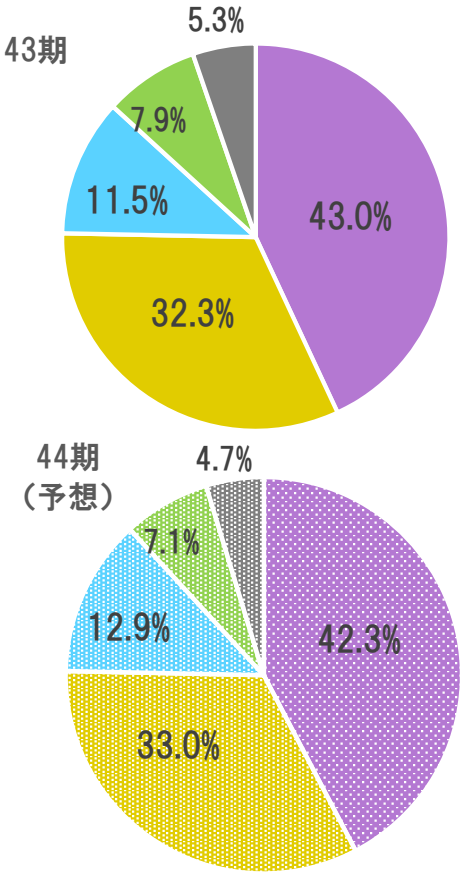
【売上・原価・営業利益への為替影響】
売上高△901－売上原価△128－販管費△214＝営業利益△559

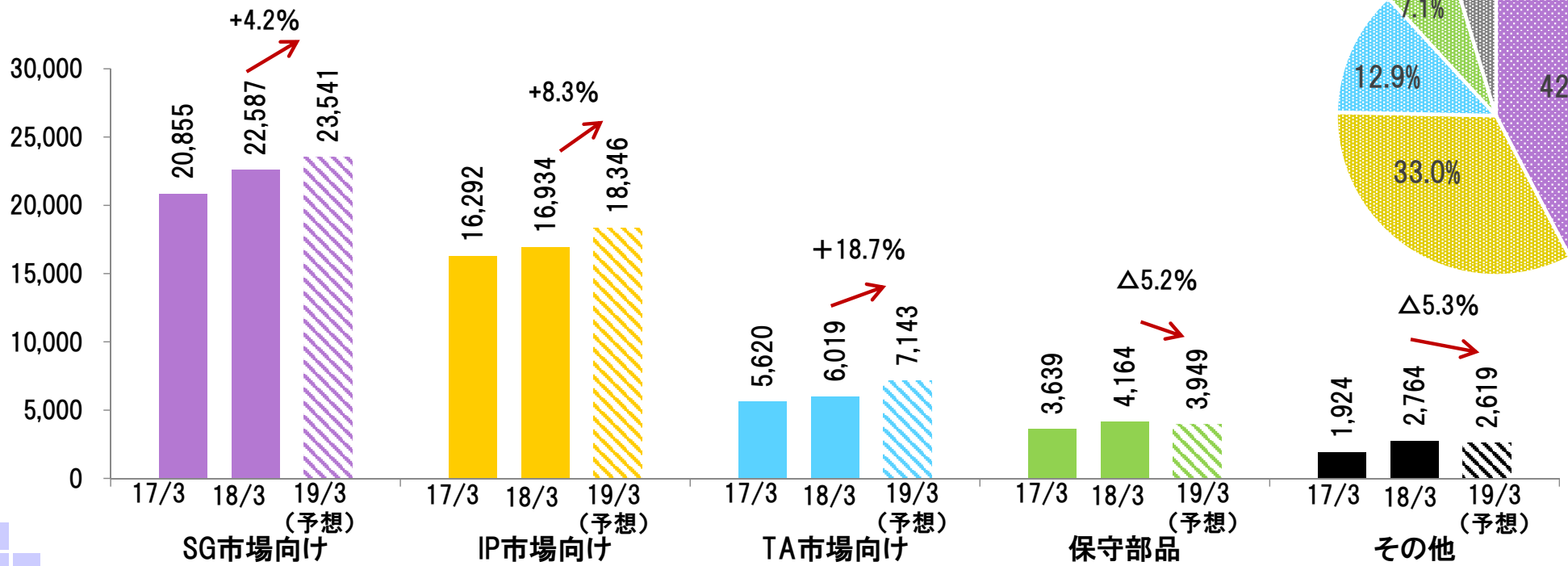


市場別売上高予想 （2019年3月期）

（単位：百万円）	2018年3月期（第43期）	2019年3月期（第44期）					
	通期	上期	下期	通期	増減額	増減率	為替影響除く前年増減率
SG市場向け	22,587	11,296	12,245	23,541	954	4.2%	6.0%
IP市場向け	16,934	8,720	9,625	18,346	1,411	8.3%	10.1%
TA市場向け	6,019	3,210	3,933	7,143	1,123	18.7%	21.0%
保守部品	4,164	1,969	1,980	3,949	△ 214	△ 5.2%	-
その他	2,764	1,303	1,315	2,619	△ 145	△ 5.3%	-
合計	52,471	26,500	29,100	55,600	3,128	6.0%	7.7%

構成比率

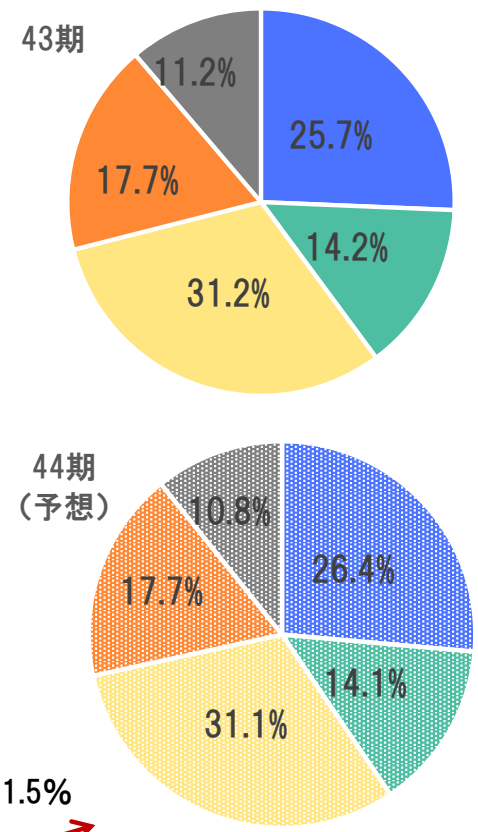


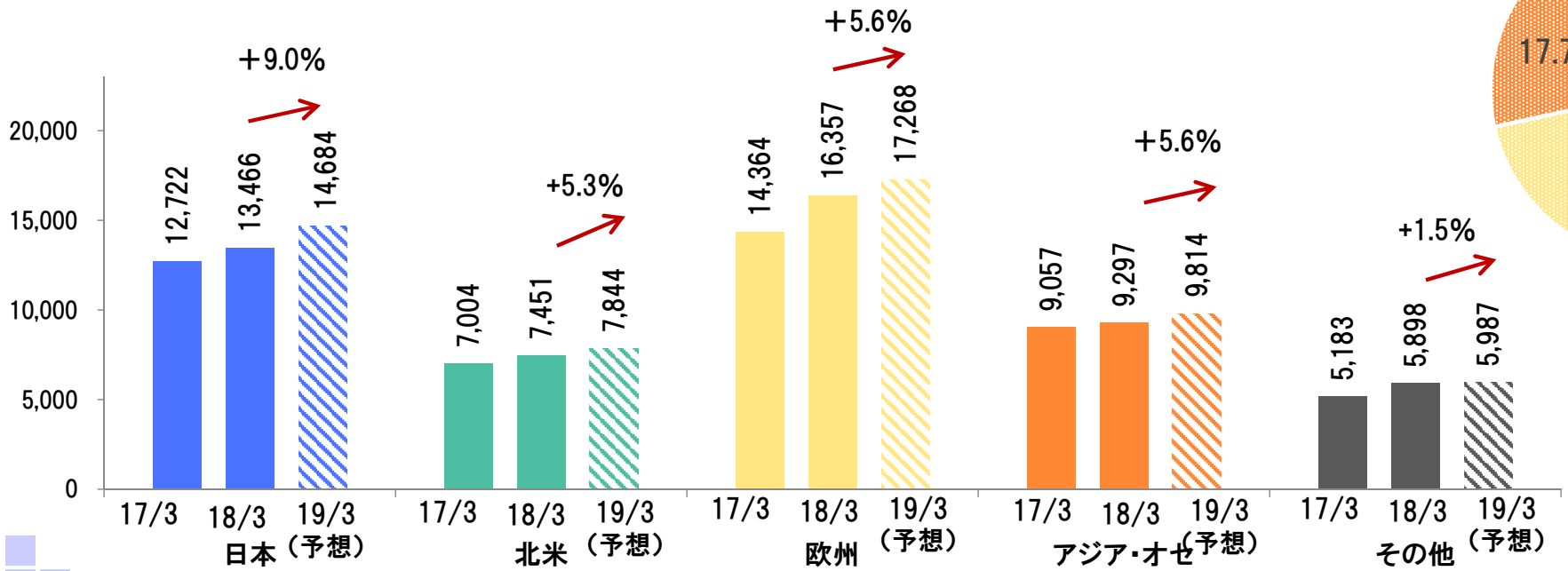


エリア別売上高予想（2019年3月期）

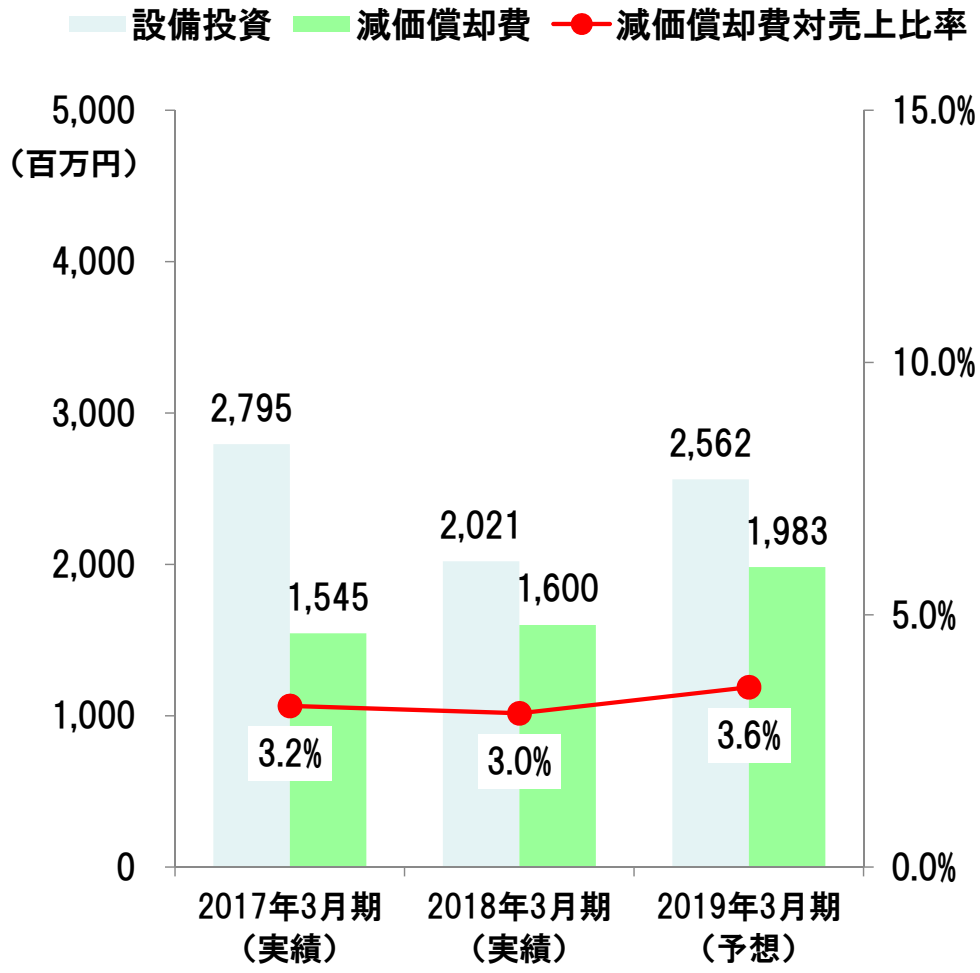
（単位：百万円）	2018年3月期（第43期） 通期	2019年3月期（第44期） 上期	下期	通期	増減額	増減率	為替影響除く前年増減率
日本	13,466	7,036	7,647	14,684	1,218	9.0%	-
北米	7,451	3,745	4,098	7,844	392	5.3%	11.1%
（現地通貨/$）	(67.2M$)	(35.6M$)	(39.0M$)	(74.7M$)	(7.4M$)	-	-
欧州	16,357	8,156	9,111	17,268	910	5.6%	7.0%
（現地通貨/€）	(126.1M€)	(63.7M€)	(71.1M€)	(134.9M€)	(8.7M€)	-	-
アジア・オセ	9,297	4,725	5,088	9,814	517	5.6%	5.6%
その他	5,898	2,834	3,153	5,987	89	1.5%	-
合計	52,471	26,500	29,100	55,600	3,128	6.0%	7.7%

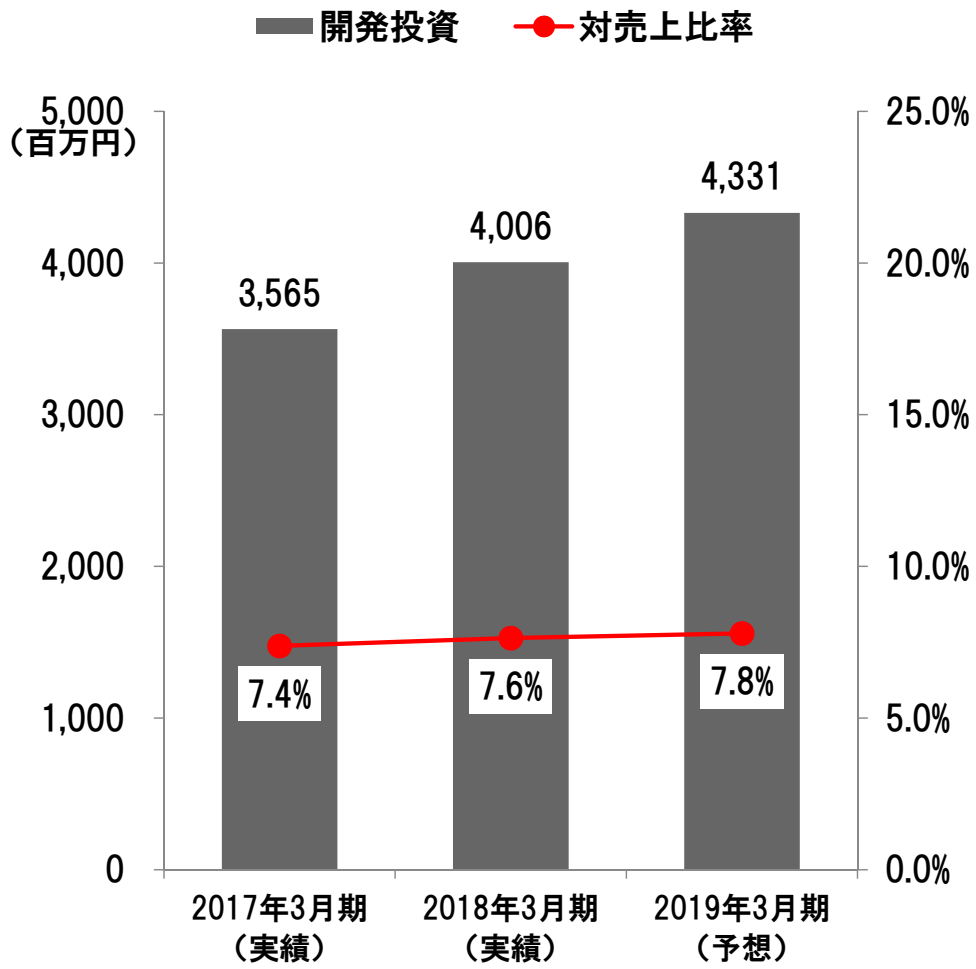
構成比率





設備投資、減価償却、開発投資予想





※ 主な設備投資計画（2019年3月期）

- 基幹システム　3億42百万円
- 金型　3億15百万円
- 機械装置（子会社用）　2億6百万円
- 実験設備　2億3百万円

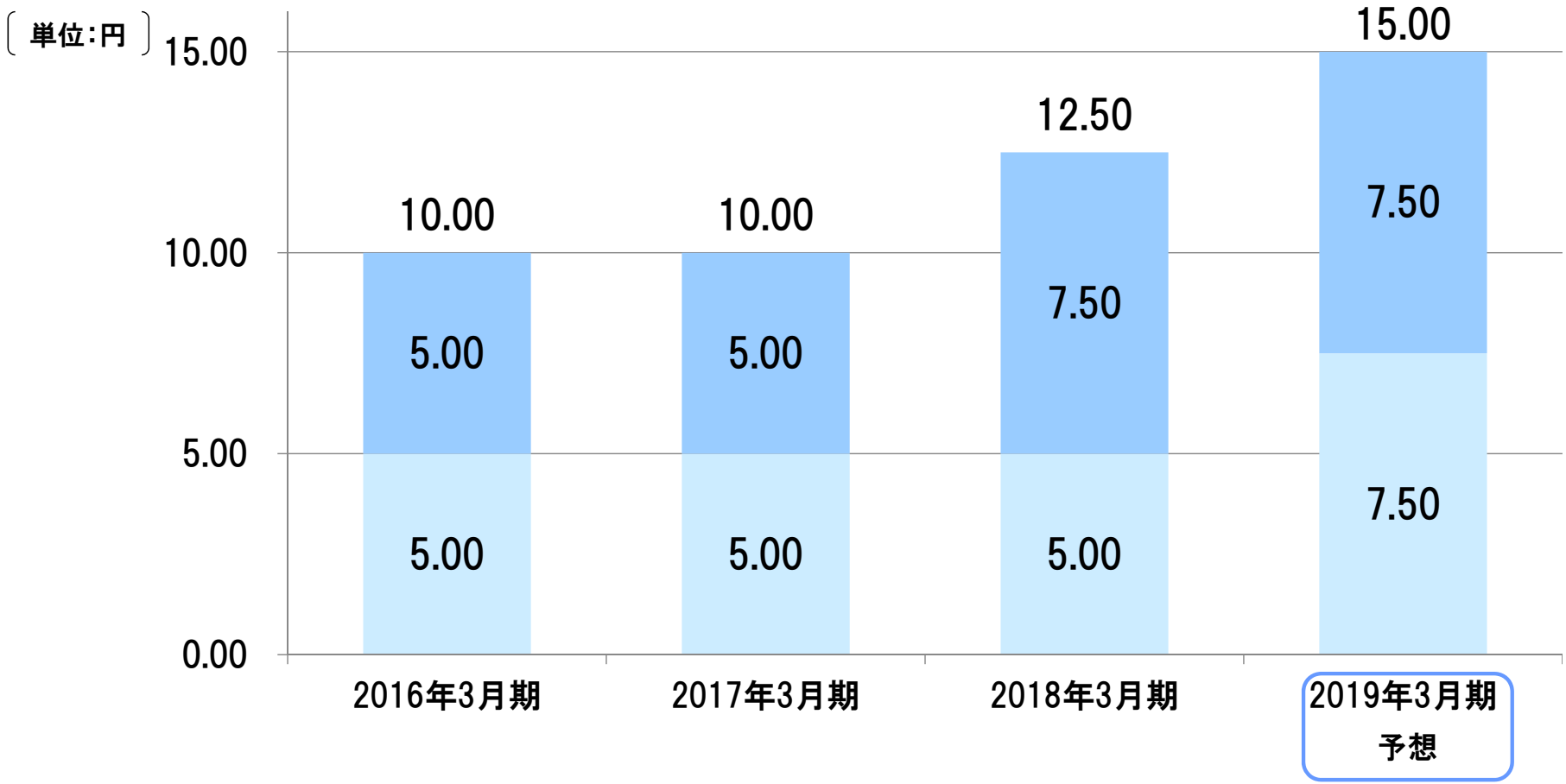
※ 上記の金額は、研究開発活動に係る費用の総額を示すもので、既存製品の改良、応用等に関する費用が含まれております。

各会計年度の販管費における「研究開発費」は、17/3期24億13百万円、18/3期23億30百万円、19/3月期（予想）25億52百万円です。

配当予想（2019年3月期・予想）

配当方針

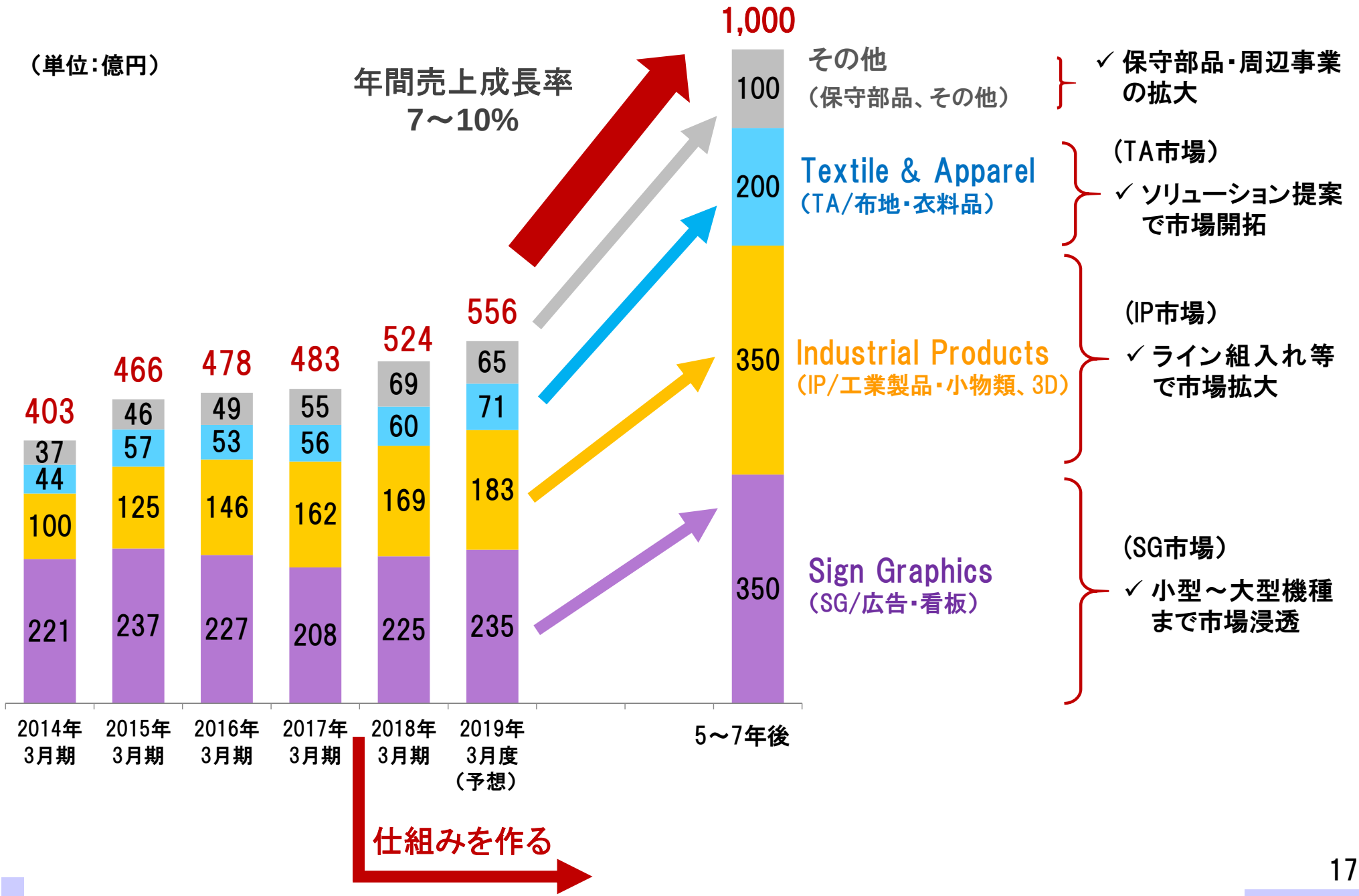
配当性向20%以上、配当利回り1%以上を目安に、業績の成長に見合った成果の配分を、安定的かつ継続的に行っていくことを基本方針としております。



❖成長戦略と重点施策

M1000
Digital on-demand
Something new
something different
Innovator
R&D oriented
company
Open Innovation

1. 中長期ビジョン:M1000 2.0

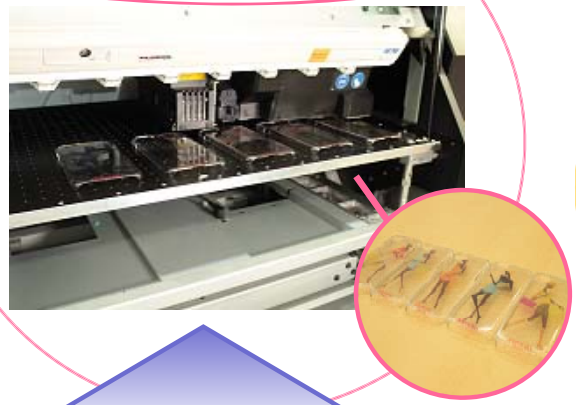


1. ビジョンステートメント

ベクター技術・ラスター技術でマスカスタマイゼーション・オンデマンド印刷・IoTを推進します

デジタルオンデマンド印刷

マスカスタマイゼーション



IoT

無人化

省人化

『“新しさ”と”違い”』

ベクター技術

カッティングプロッタ・レーザーなど

ラスター技術

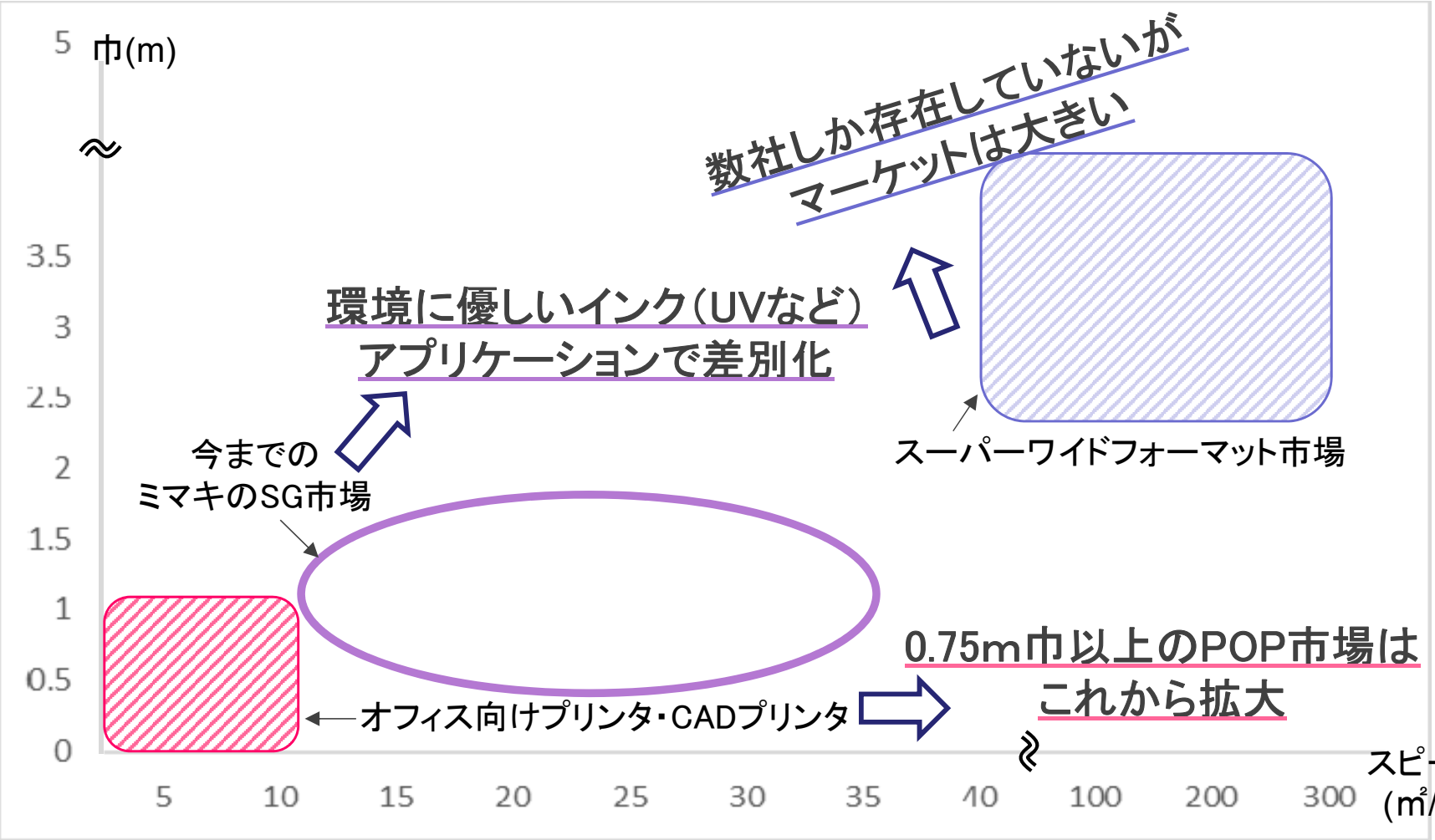
インクジェット・3Dプリンタなど

2-1.成長戦略/SG市場

・環境に優しい製品投入で競合との差別化

・アプリケーションの拡大で更なるシェアUP

・SIGN市場向け製品のラインナップを広げる



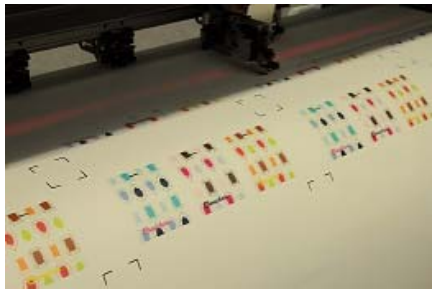
2-1.アプリケーションの拡大

・エコソルベントインクからUVインク、水性インクへの転換を図り、
　エンドユーザーの仕事の幅を広げる

・看板から内装POP、ラベル、ウインドウフィルム、壁紙などへの拡大

看板

ラベル/ステッカー



POP

ウィンドウフィルム

壁紙

2-2.成長戦略/IP市場

・付加価値戦略

・EASY to USE

◎スペシャリティ市場

付加価値

スマートフォンケース

ノベルティ

シルバーインク

EASY to USE

設計室

ショッピングモール内ショップ

ＦＡＢ

2-2.成長戦略/IP市場

・高画質と高速化の両立

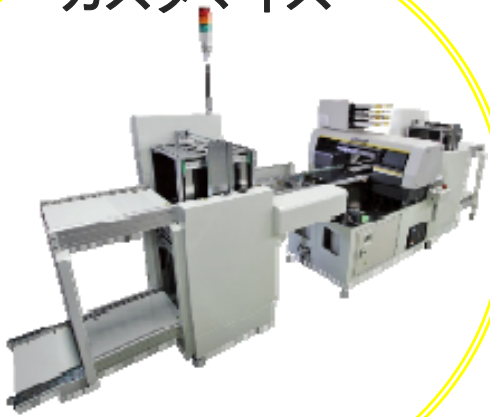
・省人化・無人化に向けて取り組む

・Digital PrintのIoTを推進

◎Industrial

高速

カスタマイズ



・無人化
・省人化

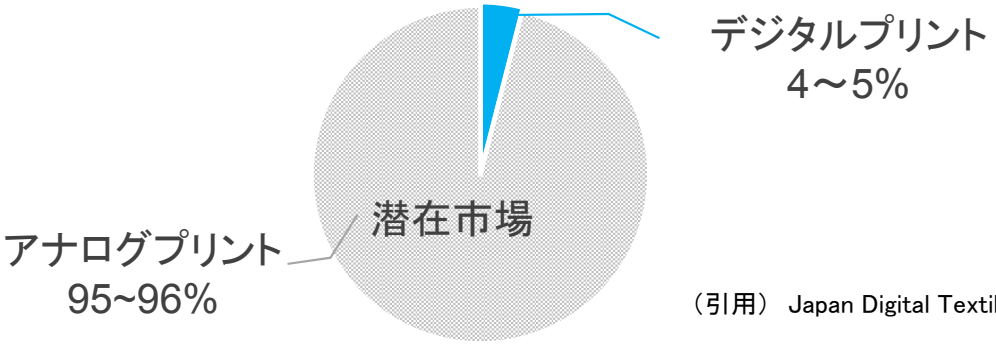
IoT

2-3.成長戦略/TA市場

・一貫システムとしてのソリューション提案

・消費地、生産地を分けた商品・販売戦略を実施

◎アナログプリントの比率が高く、大きな潜在市場が存在



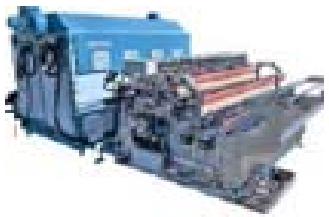
（引用） Japan Digital Textile Conference2017

◎一貫システム

前処理

プリンタ

蒸し機



水洗機

2-3.成長戦略/TA市場

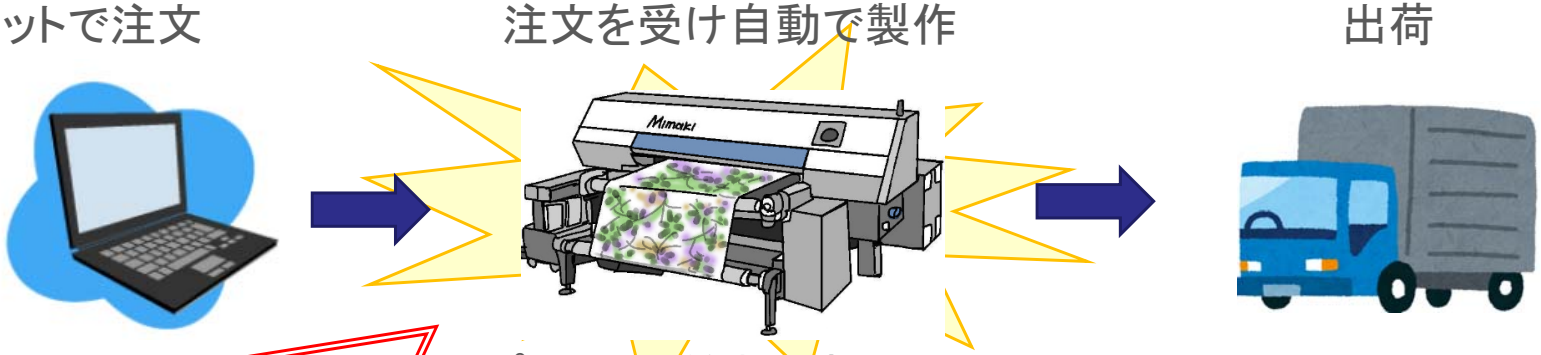
・消費地戦略：ネットからの注文を、オンデマンド生産できるソリューションを提案

今まで

ネットで注文 → 在庫から手配 → 出荷

ミマキの提案

ネットで注文 → 注文を受け自動で製作 → 出荷



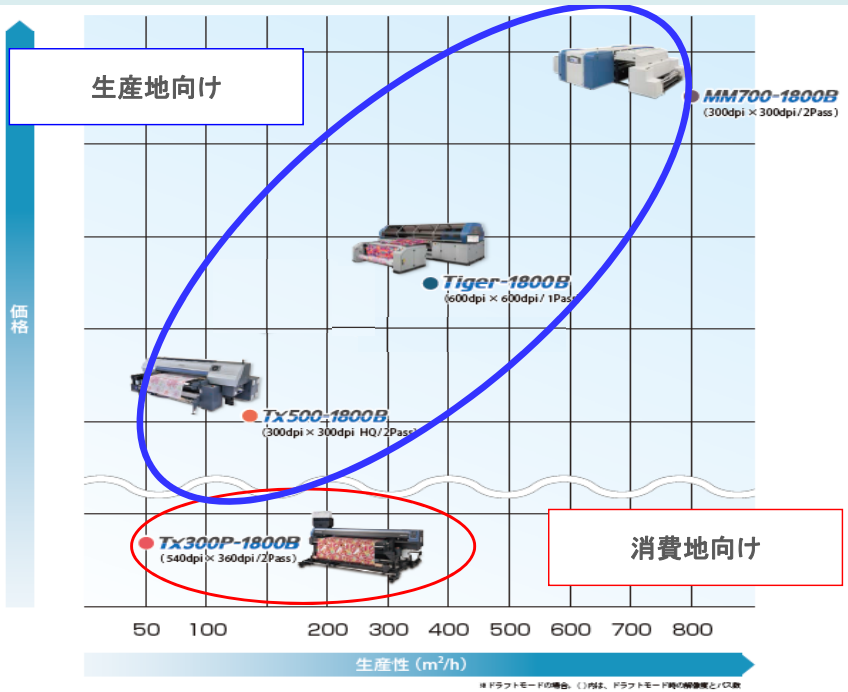
プリント→縫製→梱包

◎Mimaki 一貫システム

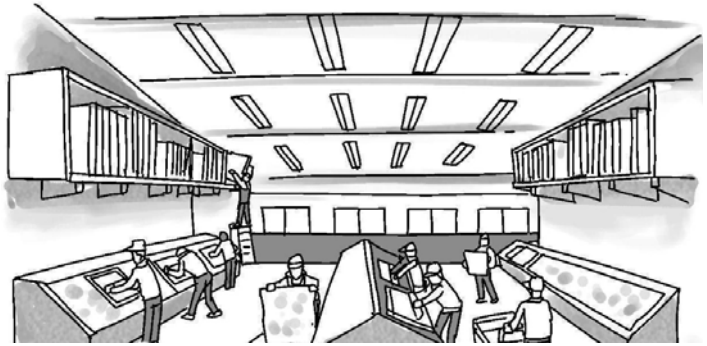
前処理 → プリンタ → 蒸し機 → 水洗機

2-3.成長戦略/TA市場

・生産地戦略:プリンタの高速化、省人化



中国、インド、トルコ、ブラジル、イタリア等
生産地でのアナログ印刷
→デジタル印刷へ切替
※　生産地の多くは大型設備 → 高速モデルが最適



・トータルソリューション(プリンタ+前後処理装置)素材別提案

エントリーからハイエンドまでラインナップし、色合わせにも対応
一気通貫システムで最終成果物のコントロール(裏抜け等)が可能に
(前処理～水洗までMIMAKI製品のため、色合いのコントロールが可能)

《プリンタ+前後処理装置セット》

前処理機

プリンタ

蒸し機

水洗機

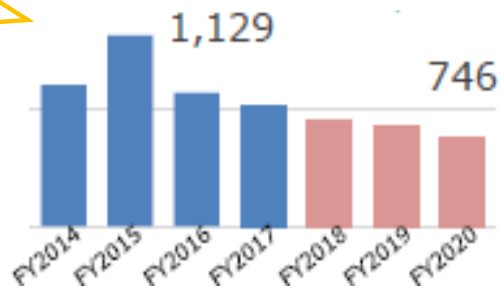
2-4.成長戦略/3D市場

・石膏方式をフルカラーインクジェット方式へリプレイス

Mimaki 3D Printer

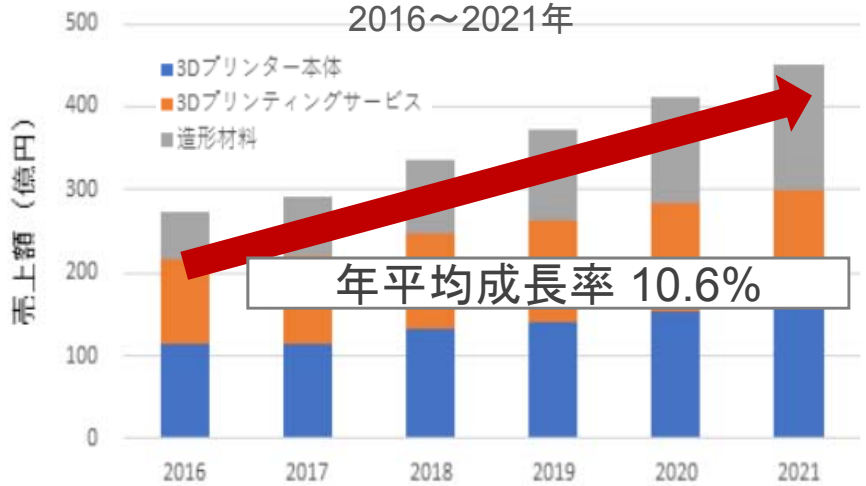
約1000台/年 出荷
→ 累積推定台数 約**5000**台 !!

<石膏方式> 出荷台数推移予測



Source：3Dプリンタ導入活用ガイド（技術評論社）

国内3Dプリンティング市場 売上額実績および予測
2016～2021年



Note: 2016年は実績値、2017年以降は予測
Source: IDC Japan, 2/2018

3. 本部別の重点施策

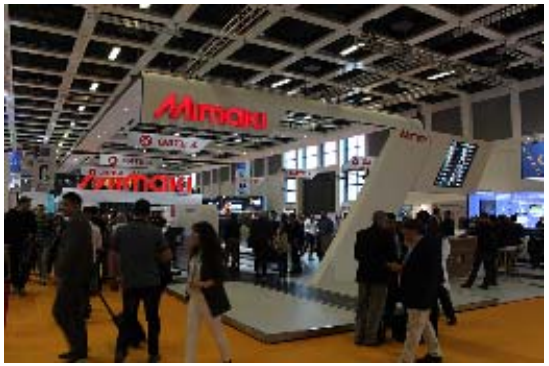
営業本部

1. 地域密着営業、ミニ展*1戦略の徹底
2. ソリューション提案と消耗品ビジネスの拡大

*1：3～5社のお客様に対して、新製品説明やアプリケーション提案、ソフトウェアセミナーなどを行う小さな説明会

ミニ展

FESPA展示会



Tiger+ジャンボロール

3. 本部別の重点施策

- 国内 /中長期で年平均5～10%程度の増収見込み
  - ① 業務用IJPのソリューションプロバイダ
  - ② サービスによる競合との差別化
  - ③ ミニ展戦略のさらなる徹底
- 北中南米 /中長期で年平均15%程度の増収見込み
  - ① 販売チャネルの増強、地場販社の増加、事務機販社の取り込み
  - ② サービス・営業人員のレベルアップ
  - ③ ミニ展戦略の徹底
- 欧州・中東・アフリカ /中長期で年平均10%程度の増収見込み
  - ① ドイツのチャネル改革
  - ② 管理会計システムの導入と運用
  - ③ サービス・営業人員のレベルアップ(スキルマップの構築)
- アジア・オセアニア /中長期で年平均10～15%程度の増収見込み
  - ① 中国、インドにおける販売体制の再構築
  - ② エリア制の徹底
  - ③ 引き合い管理、プロセス管理の徹底

3. 本部別の重点施策

Mimaki

技術本部

1. 品質の向上
2. 設計の標準化

- 過去の品質問題を設計評価項目に入れ、MES（Mimaki Engineering Standard）評価を更新する仕組み作り
- ソフトウェア・ファームウェアを始めとする設計の標準化を行う

生産本部

1. 品質の向上
2. 需要変動に追従できる生産体制
   →製品不良率や着荷不良率の低下
3. コストダウン

- 工程設定の全面的な見直し
- 発注・受入・組立・出荷・着荷を連動させた生産計画
- 競合に負けないコストダウンの実現

3. 本部別の重点施策

経営企画本部

1.GIPS*1のグローバル展開
2.経営の見える化
3.仕組み作り

*1：部門別独立採算管理システム

- 海外子会社まで含めた部門別独立採算管理システムを運営

管理本部

1. 経営資源の調達と運用（人、物、金、情報）
2. グローバル管理
（子会社管理、為替管理、コンプライアンス）
3. 学習する組織

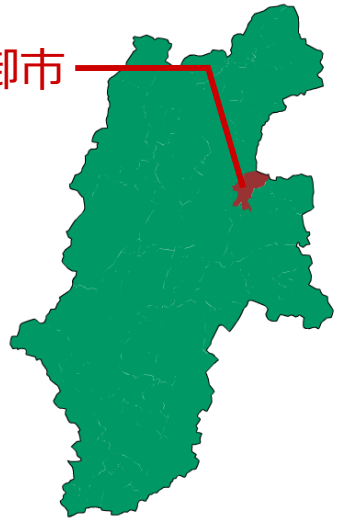
- 為替感応度を下げる取組施策
- 海外子会社を含めたコンプライアンス遵守体制の構築
- しっかりとPDCAのまわる学習する組織になる

❖ ご参考資料

M1000
Digital on-demand
3D Printer
Something new
something different
Innovator
R&D oriented
company
Open Innovation

プロフィール

設　立	1975年８月
資　本　金	4,357百万円
本　社	長野県東御市滋野乙2182-3
代　表　者	代表取締役会長　池田　明 代表取締役社長　池田　和明
従　業　員　数	連結：1,629名 ／ 単体：800名　＊2018年3月末現在
グループ会社 （計１８社） *印は　販売＆製造を行っている為、 各1社としてカウント	・販売関連：13社 欧州　：ミマキEUROPE(オランダ) *、ミマキドイツ、ミマキEURASIA(トルコ)、ミマキリトアニア*、ミマキBompan 北米、中南米　：ミマキUSA、ミマキブラジル アジア・オセアニア　：上海御牧、ミマキインドネシア、ミマキシンガポール、ミマキオーストラリア、ミマキインド、台湾御牧* (*製造事業も展開) ・開発、製造関連：7社 国内　：㈱ミマキプレシジョン 欧州　：ミマキEUROPE、ミマキLM、ミマキリトアニア 中国　：浙江御牧、平湖御牧 台湾　：台湾御牧 ・プリントサービス関連：１社 国内　：㈱グラフィッククリエーション
上　場　市　場	東京証券取引所 市場第一部 ／ 証券コード　6638
発行済株式総数	32,040,000株（単元株＝100株）＊2018年3月末現在



SG市場（Sign Graphics/広告・看板）

インクジェットプリンタ

◆ JV5シリーズ

カッティングプロッタ

◆ CG-FXⅡシリーズ

◆ CG-SRⅢシリーズ

ソフトウェア

- ◆ Raster Link Pro 5 SG
- ◆ Raster Link 6
- ◆ Fine Cut 8
- ◆ Simple Studio

SG市場（Sign Graphics）

主力製品群

街を彩るビジネスシーンでの活用事例

案内看板(MWCS)

屋外サイン

アスファルト

壁紙サイン

SG市場：屋外広告

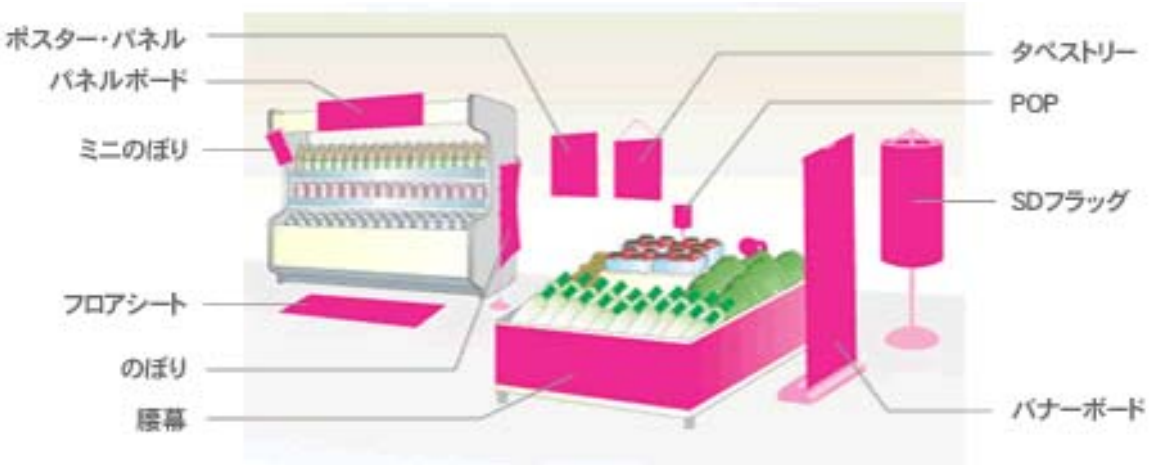
SG市場：屋外広告

ラッピング（自動車）

ラッピング（電車）

フロントリット

SG市場：屋内広告（POP）



IP市場（Industrial Products/工業製品・小物類）

Mimaki

フラットベッドインクジェットプリンタ

UJF-6042 MkⅡ

UJF-3042 MkⅡ

UJF-7151 plus

JFX200-2531

JFX200-2513

JFX500-2131

彫刻機/モデリングマシン

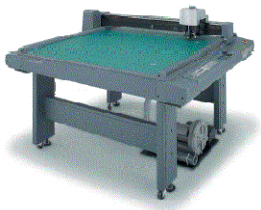
- ME-Ⅱシリーズ

- NC-5K

フラットベッドカッティングプロッタ

CF22-1225

- CF3シリーズ



- CF2シリーズ

- CFL-605RT

ソフトウェア

- Raster Link Pro 5 IP
- Raster Link 6
- CAM Link
- Fine Cut 8

IP市場（Industrial Products）

工業製品やノベルティ等での活用事例

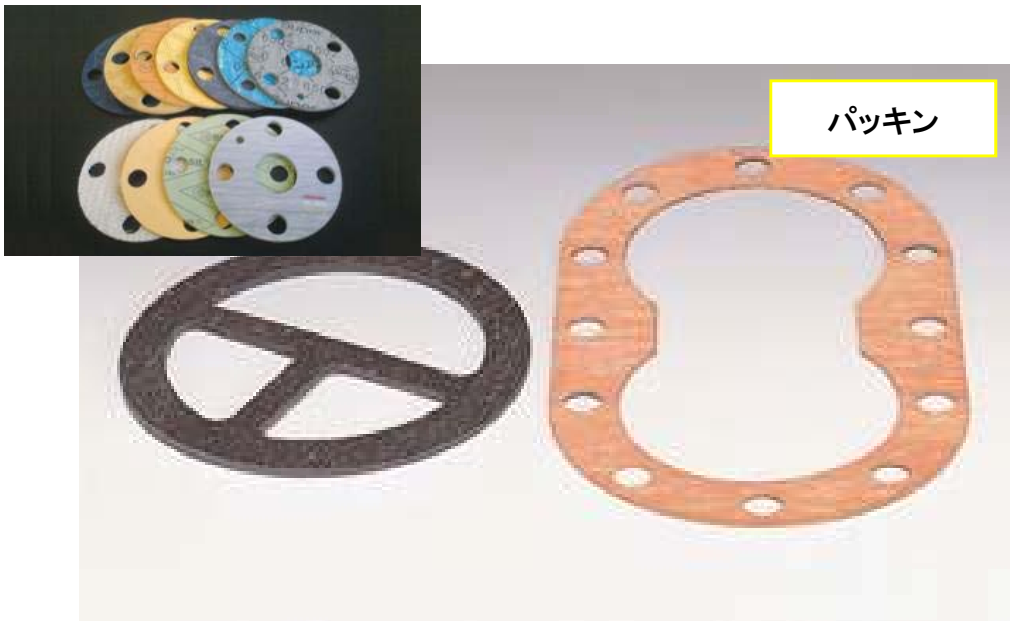
IP市場：パッケージ、小物類

IP市場:時計、電化製品

IP市場：工業用途

メンブレンスイッチ
MIMAKI SWITCH
Back
Set
Clear
Enter

ブレーキ
Mimaki


パッキン

メーターパネル

TA市場（Textile & Apparel/布地・衣料品）

インクジェットプリンタ

Tx300P-1800B

Tx500P-3200DS

Tx500-1800B

TS30-1300

Tx300P-1800

TS500P-3200

Tx500-1800DS

Tx2-1600

TS300P-1800

TS500-1800

Tiger-1800B

Tiger-1800B MkII

プリンタカッター/型紙カッティングプロッタ

◆APC-130

ソフトウェア

◆Raster Link Pro 5 TA

◆Tx Link3

◆Raster Link 6

TA市場（Textile & Apparel）

裁断・縫製加工前の生地や既製服での活用事例

TA市場：スポーツアパレル

本資料に関するお問合せ先

株式会社ミマキエンジニアリング

IR部

TEL（本社） 0268(80)0058

TEL（東京） 03(6362)4290

E-mail mimaki-ir@mimaki.com

〔本資料お取扱い上のご注意〕

本資料は、株式会社ミマキエンジニアリング（以下、当社）を理解いただくため、当社が作成したもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。